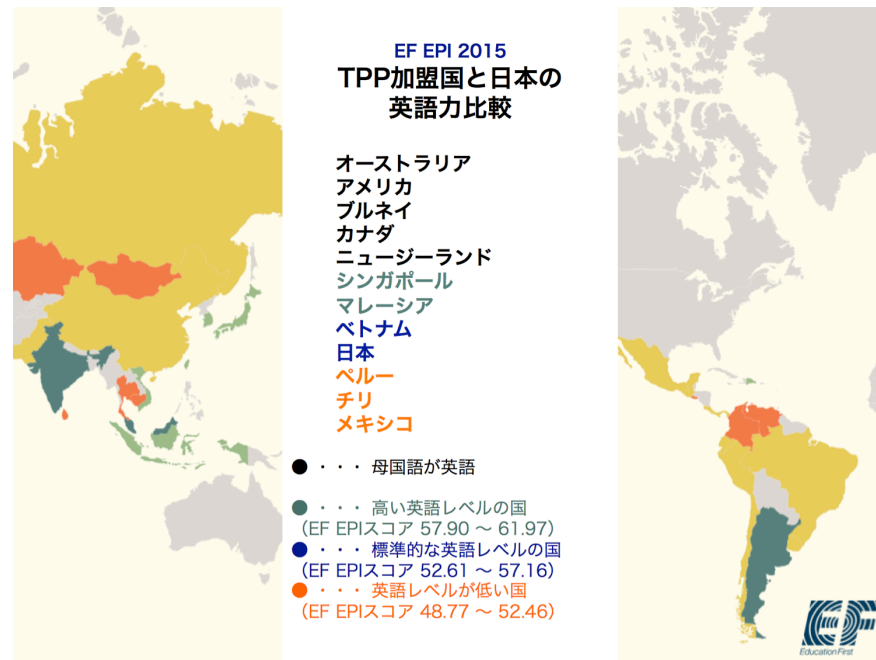


## 留学・語学教育事業のEF、TPP加盟国（11カ国）と日本の英語力を比較 - 世界最大の英語能力指数「EF EPI 2015」レポート -

留学・語学教育事業を展開する世界最大級の私立教育機関、イー・エフ・エデュケーション・ファーストの日本法人であるイー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社（本社：東京都渋谷区渋谷 2-15-1 以下、EF）は、2015年11月11日（水）に発表した世界最大の英語能力指数「EF EPI 2015」のデータを用いて、2015年11月現在でTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）に加盟している11カ国と日本の英語力を比較しました。



※EF EPI 2015の対象国：英語を第二言語として利用する国となります。

EF EPI 2015の被験者対象は世界70カ国、91万人の成人データを分析しており、また、その分析値となる「EF EPIスコア」は、2つのオンライン英語テスト（1.30問の出題、2.70問の出題）の結果をもとに算出し、EF EPIスコアが高いほど、英語力が高いといったことが読み取れます。

EF EPI 2015のデータを用いて、TPP加盟国と日本の英語力を比較した場合、母国語が英語である5カ国（オーストラリア、アメリカ、ブルネイ、カナダ、ニュージーランド）を除き、EF EPI 2015の対象となった7カ国（シンガポール、マレーシア、ベトナム、日本、ペルー、チリ、メキシコ）の中で日本の英語力は4位といった結果になりました。

今回の分析結果についてEFのマーケティング・ディレクター小池浩（こいけひろし）は次のようにコメントします。「EF EPI 2015のデータは、世界銀行が発表している国際市場における“ビジネスの行いやすさ”や国連人間開発報告書でレポートされている“一人当りの国民純所得”と相関性を持つ世界最大の英語能力指数です。つまり、EF EPI 2015のデータを用いることで英語力だけでなく、EF EPI 2015と相関関係のある様々な指標も類推することができます。また、今回、公開した“TPP加盟国と日本”といったある特定のカテゴリーで比較考察することもできます。企業やシンクタンクにはマクロ経済における様々な研究で是非ご活用いただきたいと考えています。」

- EF EPI 2015 については以下のオフィシャルページよりご確認いただけます。  
EF EPI 2015 オフィシャルページ : <http://www.efjapan.co.jp/epi/>



イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社について  
1965 年に、Education First『教育を第一に』をモットーにスウェーデンで設立した、イー・エフ・エデュケーション・ファーストは、世界最大級の私立教育機関です。現在では世界 53 カ国以上の国々に 500 を超える事業拠点、及び、直営語学学校を擁し、グローバルに教育事業を展開しています。同社は、言語教育、留学、オンライン英語学習、ビジネススクールなど、さまざまなプログラムを提供しています。また、2016 年リオデジャネイロ・オリンピックおよびパラリンピックの公式語学サプライヤーに認定されています。

イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社はイー・エフ・エデュケーション・ファーストの日本法人として 1973 年に設立されました。

【EF 公式サイト】 <http://www.efjapan.co.jp>

本件のお問い合わせについて

イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社 担当：平尾

TEL : 03-5774-6206 Mail : [satoshi.hirao@ef.com](mailto:satoshi.hirao@ef.com)